令和元年度東北大学附属図書館企画展
チャールズ・ダーウィン生誕 210 年記念

蔵書でたどる『種の起源』への道のり

進化×深化

オン・ジ・オリジン・オブ・スピシーズ
『種の起源』初版本を展示！

令和元年 11 月 1 日 (金) -11 月 15 日 (金)

10:00-17:00　※11/9(土)-10(日)は閉場

東北大学附属図書館　多目的室

入場無料

※ 駐車場はございません。公共交通機関等をご利用ください。

記念講演会

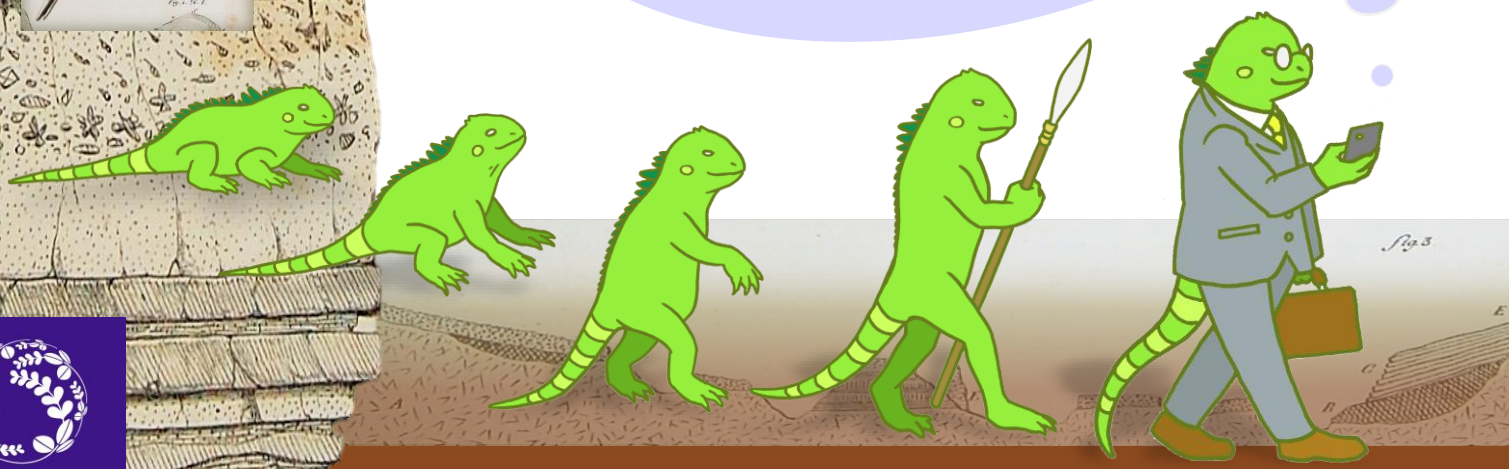
令和元年 11 月 5 日 (火) 15:00-17:00

東北大学附属図書館 本館 1 階
フレキシブルワークエリア

▹ **ダーウィンの『種の起源』**
渡辺政隆 氏

▹ **植物の結婚 ～カール・リンネと自然の体系～**
小川知幸 氏

※参加希望の方は直接会場にお越しください。



東北大学

主催:東北大学附属図書館 / 協力:東北大学総合学術博物館
お問い合わせ：022-795-5911（代表）

令和元年度東北大学附属図書館企画展

進化×深化 -蔵書でたどる『種の起源』への道のり-

1831 年、22 歳の青年ダーウィンは、博物学の専門家としてイギリス海軍の調査船ビーグル号に乗り込み、世界探検へ旅立ちます。この 5 年に及ぶ体験をきっかけとして、後に、有名な『種の起源』を著しました。

本展では、ダーウィンにより進化論が科学として確立するまでの道のりを、当館が所蔵する『種の起源』初版本を含む貴重な資料とともに紹介します。

青年時代のダーウィン

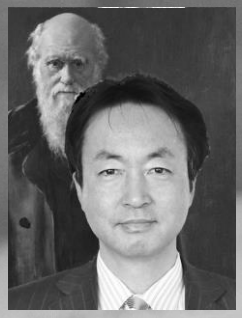
記念講演会

【日時】　令和元年（2019）11 月 5 日（火）15:00-17:00

【会場】　東北大学附属図書館本館 1 階　フレキシブルワークエリア

※参加希望の方は直接会場にお越しください。

ダーウィンの『種の起源』



ダーウィンが 1859 年に発表した『種の起源』は、文字通り一夜にして世界を変えただけでなく、その影響は今も続いています。『種の起源』とはどのような書なのか、それが書かれた時代背景とその衝撃についてお話します。

渡辺政隆 氏（サイエンスライター、東北大学広報室特任教授）

社団法人日本サイエンスコミュニケーション協会会長。科学史、進化生物学を中心に、サイエンスコミュニケーターとして活躍。『ダーウィンの遺産』『一粒の柿の種』（岩波書店）、『ダーウィンの夢』（光文社新書）などの著書のほか、『種の起源』（ダーウィン著、光文社古典新訳文庫）をはじめとする翻訳書も多数手がける。

植物の結婚
～カール・リンネと自然の体系～

啓蒙主義のヨーロッパ、博物学者カール・リンネが植物のなかに発見したセクシュアルな秘密。その着想が「自然」をひとつの体系へとまとめ上げます。

小川知幸 氏（東北大学総合学術博物館助教）

ヨーロッパ中世・近世史、資料論、出版・メディア論